

学校教育目標

かがやけ はばたけ こまばっ子 学びのその先へ

めあてをもつ

自分のめあてをもち ねばり強く取り組み振り返る

考えをもつ

自分の考えをもち 相手の考えを理解し伝え合う

よさに気付く 自分を信じて 一步前へ<重点>

自分のよさに気付く 相手のよさをみとめ学びに生かす

駒場だより

便利に！安全に！使用するためのルール作り

指導育成部 櫻井 佳子

学校の授業では、一人一台端末を使用した学習が定着しました。様々なコンテンツやアプリ等の充実に伴って、子どもたちの情報活用能力は年々向上しています。ご家庭でもスマホやゲーム機器などを活用し、様々な形でインターネットを利用されていることと思います。情報端末は安全かつ効果的に活用すれば、学びを深め、学校生活を豊かにしてくれます。

しかし、目的や使い方を誤れば、様々な不利益を生じたり、他人を傷つけたりする恐れがあります。ネットの世界は複雑で、子どもたちが想像もできないトラブルや危険が多く潜んでいます。子どもたちは被害者になることも加害者にもなることも考えられます。SNSやゲーム、ネットを介したサービスなど「これをやり続けるとどうなるか」「その行動をとったときのメリット・デメリットは」など、一緒に話し合ってみることが大切です。また、年齢や発達段階、環境に応じたルール作りも必要でしょう。安全を守り、責任をもって情報端末、ネットを利用できるよう、ご家庭でも話し合ってみてください。

《家庭でルールを作るときのポイント》

- ①「ルールがトラブルから自分自身を守ってくれる」ことをきちんと伝える。
- ②親と子が、お互いに納得できるように話し合っ作る。
- ③子供が守れるルールを作る。
- ④具体的なルールを作る。
- ⑤守れなかったらどうするか決めておく。
- ⑥トラブルがあったら保護者に相談するよう決めておく。



学校では、下記の日程で情報モラル指導を行います。こうした学習の機会を設けて、デジタル社会の中で、自らの安全を守るとともに、責任をもって情報端末を利用する判断力を育てていきたいと考えています。

情報モラル教室

7月23日 4・6年生
10月9日 3・5年生
2月10日 1・2年生



代表委員会が5月19～21日までの3日間、緑の羽根募金活動を行い、下記の金額が集まりました。

13,309円

集まったお金は、公益社団法人 北海道森と緑の会に寄付しました。

ご協力ありがとうございました。

